

通学の安全対策について

1.進捗状況について

- ・教育委員会では、2022年度に開催された検討会でご意見をいただいた箇所について、2023年3月に学校関係者、道路管理者、交通管理者（警察）とともに新たに通学路に設定される候補箇所を中心に通学路合同安全点検を実施しました。
- ・点検の際、学校関係者、道路管理者、交通管理者（警察）よりいただいたご意見をもとに、下表のとおり安全対策を検討しています。
- ・実際に2025年度からどのように通学路を利用していくことになるのか、右の図を参考にこれから新たな学校の通学路の設定に向けて学校長と協議を進めていきます。

2.通学路候補の点検結果

場所	ご意見	対策内容
① 扇橋から南成瀬小方面	・車通りが多く、止まってくれないので危ない。 ・南成瀬小で現在利用している児童は西側の路側帯を利用している。 ・バスを利用する場合は成瀬コミュニティセンター前を使うことになっているが、東側の歩道を利用するのがくに危ない。 ⇒成瀬コミュニティセンター前ではなく、消防出張所前で降りるのがよいのではないか。 ・扇橋手前に駐車場の出入口があることや恩田川沿いを走る自転車考えると、横断歩道の前に待機スペースはほとんどないため、危ない。	・消防出張所前のバス停を利用し、西側の歩道で通学する。 ・扇橋上の狭い路側帯にはポストコーンを数本設置する方向で要望する。 ・成瀬街道の横断歩道については溶着する。
② 会下山橋先の交差点付近	・ここを渡って、恩田川沿いの通路に③から降りることになる。歩行者たまりが少し狭い。 ・ここから④に行くまでの道の路側帯が狭い。 ・会下山橋から反対側に渡って、階段を降りるのがよいのでは ⇒階段は団地の駐車場に降りることになるので危険 ・会下山橋から団地の駐車場に降りることができる階段について、橋の下にある道路の歩道に向かって階段を増設することはできないか。 ・車いすの児童の通学のことを考えて、会下山橋のオーディオテクニカ側から橋の下にある道路の歩道に向かってスロープを新設できないか。	・交差点付近の④に行くまでの路側帯部分にポストコーン設置を設置できるか協議する。 ・新たな構造物を作る（階段やスロープ）の新設は難しい。
③ 恩田川へ下る階段、恩田川南側歩道	・利用は最低限にしたい。 ・路側帯から階段に降りる所は転がり落ちる危険性があるので、抑止柵を設置すべき	・階段を下りるところにポストコーンを設置できるか協議する。 ・階段部分に手すりを設置できるか協議する。
④ クリエイト南成瀬店、とんでん南成瀬店先交差点付近	・薬局出入口のため、車の出入りが危ない。 ・路側帯の幅は広いので、ポストコーンを立てることは検討する。 ・最小限の利用とすべき。 ・④先のカーブのところは現状南二小の通学路だが、危険である。	・ポストコーンの設置について協議する。 ・路側帯内のカラー舗装については住民の同意が必要なため、調整が必要である。
⑤ 成瀬駅東交差点付近	・待てるスペースはある。 ・学区の南の方に住んでいる子どもはここで渡るのがよい。	・交差点に巻き込み防止のガードパイプが設置できるか協議する。
⑥ 成瀬駅ガード北交差点	・車通りは多いが、この交差点が一番広い。 ・歩行者の数が多くなるので、子どもたちが渡り切れるよう信号の秒数を調整したい。	・警察にて交通量調査を実施し、信号機の秒数調整ができるか検討している。
⑦ 成瀬中央通り	・駐車場が多い。 ・近隣に信号機があるため、新設はできない。	-
⑧ 南成瀬中西交差点から成瀬駅方面	・直線なので安全である。 ・現状南二小に行くために⑨から総合体育館の方に行っているが、信号がない横断歩道を渡っているので、南成瀬小に行く際はまっすぐ⑨のところまで歩いた方がよい	-
⑨ 恩田川沿い通路から道路反対側道路に渡る箇所	・恩田川沿い通路から横断歩道に出るまでに段差があるが、段差が高くて危険。 ・車がスピードを出している。 ・植栽もあり、子どもは見えなくなってしまう。 ・団地の出入口に横断歩道があるため、危険。 ・横断歩道の位置を南二小側にずらすことができないか確認。 ⇒団地の出入口にある横断歩道を移設すると判断した場合は移設に伴う横断抑止柵の設置などが必要となる。こちらについては通学路だから、ということではなく、そもそも横断歩道として存続させることが難しい。	管理者の意見を踏まえ、この横断歩道は通学路候補から外す。
⑩ ②から南東に向かう道（恩田川と平行）	恩田川沿いの自転車・歩行者用通路の方が安全なので、②から⑨の階段までを利用し、その先の道は利用しない。	通学路候補から外す。

通学路の利用ルート（想定）を分かりやすくするため、現南二小学区をA～Dの4つのエリアに分けました。→は想定される経路の案です。

